

2016 ジュニアサミット 三重県開催に係る要望書



平成27年8月5日

三重県

外務大臣 岸田 文雄 様

日頃より、伊勢志摩サミット開催に向けた準備等に、ご指導、ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ジュニアサミットにつきましては、本年ドイツで開催されました主要国首脳会議（サミット）にあわせ、6年ぶりの開催となりました。2016年におきましても、伊勢志摩サミットにあわせて、ぜひ、本県においてジュニアサミットを開催いただくよう要望いたします。

本県は、日本の原風景ともいえる美しい自然や、その自然との共生の中で育まれ、大切に受け継がれてきた豊かな伝統・文化など、世界中の人々に誇れる魅力が数多くあるとともに、多様な価値観を受け入れ、共存する日本人の精神性を強く受け継ぐ地でもあります。ジュニアサミットの参加者や関係者等、来訪いただく方々にとって、本県での開催は、まさに日本の魅力そのものに触れ、体感いただける絶好の機会となると考えています。

2008年に開催されたJ8サミット千歳支笏湖では、地元の子ども達と参加者との交流を通じた国際理解が深まるとともに、開催後の継続的な交流や地元住民も含めた主体的な取組に繋がり、ジュニアサミットが得難い経験となったと伺っており、本県においても、開催の成果を未来に生かしていきたいと考えています。

また、首脳会議が行われる伊勢志摩以外の地域においても、地域特性を存分に活用し、多様な会議を開催することで、国際会議をはじめとしたMICEの誘致に取り組んできたいと考えています。

ジュニアサミットの開催につきましては、県内の自治体からも強い希望があり、会場受入の意向調査を行ったところ、複数の自治体から、是非とも会場として受け入れたいとの意向がありました。このように、本県では、県・市町が一体となって、県民あげてジュニアサミットの開催に臨む、力強い機運が高まっております。

本県での開催を決定いただいた折には、三重県ならではの討議テーマの提案や討議に資する現地視察、県内各地分散型の三重県ならではの体験・交流等について、改めてご提案申し上げ、協議させていただきたいと存じますので、本県での開催について格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月5日

三重県知事 鈴木 英敬